



2023年6月13日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証 Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員兼 辻本 拓
財務 I R 部長
TEL. 03-5937-6466

電気料金値上げによる当社業績への影響について

6月1日からの大手電力7社の一般家庭向け電気料金の値上げにあわせ、各電力事業者も料金値上げに動いており、当社販促支援サービスエネルギー領域の成約単価が第2四半期より上昇基調となる見込みがより明確になっておりますことをお知らせいたします。

記

1. 概要

当社は「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、社会課題に対して、テクノロジー×リアルで解決していくことを目指し、人材採用、販促における成約支援事業を展開しております。販促支援サービスでは2022年3月期第4四半期より、INE社の子会社化を通じてエネルギー領域への参入を決定しました。2023年3月期においては、エネルギー市場における外部環境が厳しいなかで、当社事業は善戦し、電力成約件数で年間16.7万件の規模となり、当社グループ業績拡大に大きく寄与しております。また、2023年5月12日付開示「株式会社Five Lineの株式取得（連結子会社化）及び第三者割当による自己株式処分並びに資金の借入に関するお知らせ」の通り、新たに電力成約件数年間11.2万規模の企業であるFive Line社の子会社化を決定し、2024年3月期第2四半期より連結対象となります。Five Line子会社化により、INE社とあわせて電力成約件数年間30万件規模となり、国内最大規模※1の電力成約支援事業者となります。

エネルギー市場の外部環境については、2023年3月期は非常に厳しい状況で、電力事業者の新規顧客獲得余力は低下し、成約単価も低下傾向、当社取引先事業者の中でも一時的に新規顧客獲得を停止される事業者も出ておりました。

しかしながら、2023年6月からの各地域電力事業者の電気料金値上げにより、その他の電力事業者についても地域電力事業者の料金を基準に値上げをしていく動きとなっております。各社の料金値上げによりエンドユーザーへの適正な価格転嫁を通じて各電力事業者の事業収支が安定（黒字化）してくることとなり、それにより、電力事業者の新規顧客獲得余力が改善し、新規獲得を一時的に停止していた電力事業者の再開や、現在でも獲得を進めている電力事業者が獲得件数を更に増加させるためにマーケティングコストを投下し、1ユーザーあたりの獲得コスト（成約単価）を上げてくる動きになります。

電気料金値上げを踏まえ、料金改定後の条件交渉について当社取引先の地域電力事業者や新電力事業者の多くの企業と協議を進めている状況となります。その中でも最も現在当社が成約件数を上げている大手新電

力事業者の成約単価が、2023年7月より前年同期比20%以上改善する見込みとなっております。そのほか事業者についても原則ネガティブになることは見込んでおらず、各社の成約単価は維持以上になることが見込まれます。

それによりエネルギー領域の総成約単価が第2四半期より上昇基調となる見込みがより明確になっております。

※1「国内最大規模」：当社調べによるものになります。

2. 今後の見通し

5月12日に開示しております2024年3月期業績予想においては、電力成約件数、ガス等の付帯率上昇による総成約件数の増加は織り込んでいたものの、1ユーザーあたりの成約単価の回復（改善）については、計画数値に織り込んでいないため、単価の改善は売上収益、利益ともに直接的にポジティブな影響となります。

また、ストック型収益においても、電気料金値上げによって1契約あたりの報酬フィーが増加していく可能性が高く、この点においても業績寄与となります。

現在Five Line社の第2四半期より連結子会社化の影響精査を進めており判明次第公表いたしますが、成約単価改善基調による影響についても今後業績変化により、開示が必要となりましたら速やかに公表いたします。

以 上